



# 絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年8月29日発行  
No 7 文責 小林

## 環境

### ザリガニ堆肥の検証途中経過

「環境チーム」は、昨年度の6年生が作った「ザリガニ堆肥」が、本当に効果的なのかを検証しています。これにより、駆除とはいえ、奪ってしまった命がしっかりと繋がっているという実感をもつことができれば、自分達が行っている活動への意欲の向上を図ることができるのではないかと考えています。また、次年度には、この検証を子どもたちの手で行うことで、さらに活動内容を充実させていきたいと思ひます。

検証内容は、ほうれん草、インゲン豆、枝豆の3種類の種を用意し、ザリガニ堆肥を混ぜ込んだ土と堆肥なしの土とで生長の様子を比較しました。発芽段階での差はなく、全て順調に発芽しました。しかし、日数が経つにつれ、生長に大きな差が見られるようになり、ザリガニ堆肥を混ぜ込んだ土の方が、明らかに生長が早く、葉の色も濃いという結果が得られました。

今のところ、ザリガニ堆肥は、「植物の生長には効果がある！」という検証結果が出ています。今後は、実の付き具合や味のよし悪しなどの検証を行い、最終的な結論が出せるようにしたいと思ひます。



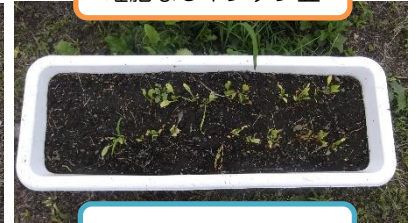
堆肥入りインゲン豆



堆肥なしインゲン豆



堆肥入りほうれん草



堆肥なしほうれん草

## ICT

### 実物投影機活用講座！

- ①教科書を大きく！②小さい物を大きく！③動きを大きく！④立体物を大きく！



「ICTチーム」は、実物投影機の活用方法について、大きく4つの使い方を提案しました。いずれも授業の中での活用場面を具体的に提示し、とても分かりやすい説明だったので、使い慣れていない先生でもイメージしやすかったのではないのでしょうか。中でも「ストップモーション」機能を用いた活用例は、子どもたちの交流場面での効果が高く、より活発な交流を促す頼もしいツールとなりそうです。

また、新しい先生方のために、再度、使い方のルールや配線の確認をし、混乱なく活用するための整備も進めています。

講座の最後に市川先生から「10年先は、ICT機器が各学級に当たり前のようになり、当然活用していかなければならない時代がやってきます。その時になってから始めたのではもう遅い！是非、今のうちから積極的に活用し、ICTに慣れて下さい！」と、締め言葉があったように、私達を取り巻く教育環境はどんどん変化していきます。その波に飲み込まれないためにも、少しずつ活用の機会を増やし、変化の波を上手に乗りこなす準備を進めましょう！その過程で、何か分からないことや困ったことがあれば、遠慮なく「ICTチーム」のメンバーに声を掛けて下さい。

\*次回は、CD-ROMや教材ソフトを用いた授業の提案をする予定です。楽しみですね！